

## 放射線管理講習会に参加して

医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院  
小野 光弘

神奈川県放射線管理士部会主催の放射線管理講習会が 2014 年 10 月 19 日（日）聖マリアンナ医科大学病院大講堂にて開催されました。

昨年までは「放射線障害防止法に基づく放射線管理実務講習会」というタイトルでしたが、本年からは医療法部分に関する内容と管理を含め、実際の現場で役立つようにと講習会の名称も「放射線管理講習会」と変更されました。

当日は小田急線のトラブルにより交通機関の乱れがありましたが、無事に到着し定刻より講義が開始されました。

- ① 「医療従事者の放射線に対する知識と放射線業務従事者への教育」では様々な業種での実際のアンケート結果を基に、スタッフの放射線への教育レベル、知識の違いによる不安を、教育を通じたコミュニケーションの改善で払拭し放射線診療を円滑に行う必要があることを認識しました。
- ② 「放射線管理と医療機器管理の実例検討」では CT 装置の申請において遮蔽計算書では、最大負荷ではなく保守点検記録などを参考に実効稼働負荷での検討を行うなどの工夫により、過大評価を現実に即した評価とすることができるなど実務に活かせる内容でした。
- ③ 「申請・届出における遮蔽計算の実際」では実際の高エネルギー放射線発生装置の申請書を基に評価点での算定の根拠や注意点およびピットフォールなどをお話頂き、装置入れ替えに伴う変更申請などにも役立つ内容でした。
- ④ 「新棟開設に至る経験について」は昨年移転した神奈川県立がんセンターの移転に際して管理区域の新規許可申請と廃止措置を同時進行で行った際の苦労と工夫をうかがうことができ、また血液照射装置の廃棄など特殊な事例についてもご紹介いただき興味深かったです。
- ⑤ 「従事者および一時立入者の被ばく管理」では実際に放射線管理において何処まで線量計を装着し管理するのかというのは現場で直面する課題であり、実務において非常に参考になりました。

また、本年は周囲に昼食場所が少ないことから初の試みとして薬剤メーカーの共催ランチョンセミナーとして「造影剤のリスクマネージメント」といった内容で講演があり、お弁当の提供がありました。

本年も講習会を企画していただいた神奈川県放射線管理士部会に感謝申し上げます。

